

公益社団法人日本地球惑星科学連合
2023年度(令和5年度)第4回理事会議事録

1. 開催日時 2023年11月29日(火)9:30-12:45
2. 開催場所 Zoomによるオンライン会議
3. 出席者 理事数 20名
出席理事 17名 (定足数11名)
4. 議長 理事 高橋 幸弘

5. 出席役員

理事 高橋 幸弘

理事 田近 英一

理事 サイモン・ウォリス

理事 小口 千明

理事 河宮 未知生

理事 堀 利栄

理事 阿部 なつ江

理事 大谷 栄治

理事 川幡 穂高

理事 倉本 圭

理事 成瀬 元

理事 西 弘嗣

理事 長谷川 直子

理事 日比谷 紀之

理事 福山 繭子

理事 村山 泰啓

理事 和田 浩二

監事 鈴木 善和

監事 松本 淳

6. オブザーバー

地球人間圏科学セクションプレジデント 小口 高

地球人間圏科学セクション幹事 松多 信尚

地球人間圏科学セクション幹事 若狭 幸

固体地球科学セクションバイスプレジデント 沖野 郷子

学協会長会議議長 多々納裕一
事務局長 末廣 潔
情報システム委員会委員長 興野 純

7. 審議事項

第 1号議案 新入会員承認の件

定款第 8 条 2 項の会員の入会の定めに従い、新規入会者の入会を審議した。これを承認した。

第 2号議案 新規委員承認の件

広報普及委員会、ジャーナル編集委員会、フェロー審査委員会、三宅賞審査委員会、会長賞審査委員会、国際貢献賞審査委員会の新委員を審議した。これを承認した。

なお今後、賞の増加にともない審査委員会の委員の人数も増加し、事務局の委員への対応業務も増加すると予想される。一般管理費で行う顕彰に関する審査委員の選任に関しては、各々の科学セクションにおいてバイスプレジデントや幹事に役職指定で依頼する場合もあるとした。

第 3号議案 特別栄誉フェロー認定について

推薦があったため、審査委員会を開き審査を行った。3名の候補を特別栄誉フェローとして理事会に推薦した。推薦文が資料として提示されなかったため、口頭の説明と推薦委員会への推薦文にもとづき、3名について特別栄誉フェローとして顕彰することを承認した。公式推薦文については、後ほど回覧することとした。

第 4号議案 役員候補者推薦委員会規則改正の件

役員候補者推薦委員会規則第 5 条「研究分野や所属機関等のバランス等について審議し」を「研究分野や所属機関及びジェンダー等のバランス並びにこの法人が取り組むべき課題等を考慮のうえ審議し」とすることを審議した。文案の「ジェンダー」を「ダイバーシティ」等を含んだ表現に変更することで承認した。正確な文言は後程回覧のうえ確定する。

第 5号議案 会長・筆頭副会長の選挙について

「会長・筆頭副会長の選挙についてのタスクフォース」の会議（4回開催）の結果が報告され、各項目が検討された。タスクフォースによる以下の説明に関して、この方針は了承された。

1) 会長選挙と筆頭副会長選挙の開催

- ・会長選挙と筆頭副会長選挙を行う。
- ・筆頭副会長は次期の会長の有力候補となるが、あくまでも候補であり、会長は選挙によって選任する。
- ・筆頭副会長の選出は競争選挙とし、複数の候補が立つことを想定する。会長選挙は、その筆頭副会長が会長となるうえでの信任選挙の性質が強いかもしれないが、選挙であるので、他の候補が選出されることもあり得る。

2) 代議員による意向選挙を行うのがよいという意見があった、今後の課題として検討するという説明があった。また、サポートレターの執筆などを通じて、代議員が何らかの形で選挙に参加できる方法もあるので、検討することとなった。

3) 現会長と現筆頭副会長の再選に関しては、

- ・会長と筆頭副会長とともに再選なし。
 - ・会長と筆頭副会長は兼務できない。
- 理事会として、会長・筆頭副会長（仮称）の選挙を行うことを承認し、今後、規則や細則、スケジュールなどを詰めることとなった。

第 6号議案 公益社団法人日本地球惑星科学連合賃金規則の改訂

連合賃金規則を改訂し、賞与規則を追加することを審議した。これを承認した。

第 7号議案 連合各賞規則への支出の記載について

(フェロー、西田賞、三宅賞、特別荣誉フェロー、会長賞、国際貢献賞)

各賞規則へ、それぞれの活動が公益事業の会計もしくは法人会計のどちらから供出されているかを記載することを審議した。これを承認した。

担当理事は研究業績や関連活動などについての事務的なチェック、JpGU 事務局は規則の適用、議事録の作成、審査委員への対応などの業務を行う。顕彰関係の書類受付に関して、現状は担当理事が行っているが、より事務的に処理した方が間違いがないので、来期以降、理事の業務から外し、外注も含めて事務的に処理することを検討してほしいという説明があった。

第 8号議案 2023 年度予算追加の件

2023 年度予算の追加申請を受け付けたところ、委員会、セクション等から 795000 円程度の申請があった。これらの予算を審議し、承認した。なお、委員会やセクションに紐づいていないが必要な申請もあったため、これらはいずれかの委員会等に含めることを検討する。

3. 報告事項

1. 高橋 幸弘代表理事 職務報告

事務局職員の昇給について検討している旨報告があった。

2. 田近 英一理事（広報普及担当）職務報告

・高校生のための冬休み講座の開催準備を行っている。またかねてより地方開催を検討していたが、来年3月に東北大学理学部と共催の形で、東北大学で開催することとなった。

・日本地球惑星科学連合事務局による日本学術会議地球惑星科学委員会の活動の支援業務に関する覚え書きの締結について報告があった。連合設立時から日本学術会議地球惑星科学委員会に対応する窓口としての役割を持っていたこと等の説明があった。

3. ウォリス理事 職務報告

Global Geoscience Society の活動について報告があった。多くの学会で現地大会のみにする傾向があるようである。AGU もオンラインもオンライン縮小を検討しているとのことである。一方、EGU や JpGU を含め、オンラインを継続する学会もある。

他、SDG s の話題、専門用語の統一と web サイトのマシンリーダビリティの話題、Google や Microsoft 等の巨大企業を研究機関として評価すること等について報告があった。

4. 小口 千明理事 職務報告

自動翻訳サービス「オンヤク」の検討について報告があった。11月17日に試用を含む打ち合わせを行った。多くの言語に対応し、ゆっくりはつきり話す前提であれば性能は良い。ただし課金システムが JpGU の想定している利用と合わない部分があるので、引き続き検討する。

5. 河宮 未知生理事 職務報告

10月6日にオンラインでスポンサー制度説明会を実施した。（10月6日、オンライン）20社ほどが説明会に参加し、入金時期の柔軟性や、今回の制度確立の背景などについて質問があった。終了後に1社がゴールドスポンサー加入の意志表明があった。年明け1-2月に再度開催の方向である。

そのほか、少額でも一定のサービスを提供する制度なども検討中である。

6. 堀 利栄理事 職務報告

特別荣誉フェロー顕彰に関する報告があった。

7. 道林 克禎理事（総務担当）職務報告

福山理事より代理で報告があった。協賛・後援したイベントのリストを報告した。

事務局より代理で選挙の進行について報告があった。セクションプレジデント選挙の結果を公開した。理事候補者選挙のスケジュールが示され、投票方法については従来のマークシート郵送方法からオンラインでの投票に変更する。オンラインのシステムについては簡便なものを用いるという報告があった。

8. 成瀬 元理事（財務担当）職務報告

財務関連の報告があった。寄附者について報告があった。匿名希望であることを明示できるようにすることを準備している。

9. 和田 浩二理事（大会運営担当）職務報告

大会準備関連の報告があった。採択セッション数は 2023 年大会と同数となった。

- ・オンラインポスターは口頭セッション内でフラッシュトークを行う。オンラインポスターセッションは開催しない。

- ・2023 年大会に比べて約 300 万円の経費増であるが、同程度の収入があれば大会参加登録費は増額しなくても賄えることを見込んでいる。

- ・投稿規定を一部見直し、「投稿者は発表者とする（筆頭著者である必要はない）」とする。これにより、卒業する学生の研究を教員が発表できる。

- ・セクションが主催・選定するレクチャーについて説明があった。

- ・イベント開催の申請受付を開始した。既定のフォームから申請されたい。

- ・現在の検討課題として、早期参加登録制度の有無について、現地口頭発表で各自 PC 持ち込みを可とするかについて、表彰式・懇親会の開催日時や運用について、学生賞審査委員へのサービスについて、「オンヤク」の利用について、等が挙げられた。

10. 沖 大幹理事（グローバル戦略担当）職務報告

代理でウォリス理事より、グローバル戦略委員会の開催報告があった。国際連携学会との連携、Global Geoscience Societies との連携、国際貢献賞、若手・学生に対するアンケート実施、Global Policy and Communications に関する活動などが報告された。

11. ダイバーシティ推進委員会活動報告（阿部担当理事）

坂野井委員長と堀理事より代理でダイバーシティ推進委員会の報告があった。

- ・DEI セッションを提案した。

- ・高校生ポスター発表開催時に、隣接した場所でイベントを開催する予定である。

- ・現地での保育施設の設置を予定している。

12. 教育検討委員会活動報告（阿部担当理事）

教育検討委員会の活動報告があった。アースサイエンスウィーク 2023 の実施報告があった。

13. 環境災害対応委員会報告（沖担当理事）

長谷川理事より代理で報告があった。線状降水帯のパブリックセッション、SNS と防災に関するユニオンセッションを提案した。

14. 情報システム委員会活動報告（村山担当理事）

情報システム関連の活動報告があった。

- ・ RDM-TF に関して、調査準備を進めている。
- ・ AGU からオープンサイエンスヘルプデスクへの加入の打診があった。
- ・ AGU インフォマティクス執行委員会へ対応している。
- ・ ORCID 理事会選挙が開催される。
- ・ ORCID コンソーシアム関連会合が予定されている。
- ・ G7、政府の科学技術政策関連の情報提供があった。
- ・ 研究データ関連シンポジウムに関する報告があった。

15. ジャーナル関連活動報告（倉本担当理事）

ジャーナル関連の活動報告があった。投稿数は増加がみられ、IF 上昇の効果とみられる。リジェクト率が上がっている。委員会開催報告があり、科研費申請や女性編集委員の増強、日本地震学会秋季大会への参加報告があった。

16. 顕彰委員会活動報告（川幡担当理事）

顕彰関連の報告があった。

以上

議長は以上をもって、すべての議事を終了した旨を述べ、閉会を宣した。(午後 12 時 45 分)
以上の議事の要領及び結果を明確にするため、本議事録を作成し、出席理事は次に記名・押印する。(捺印欄配布時省略)

2023 年 11 月 29 日

公益社団法人日本地球惑星科学連合 第 4 回理事会

出席理事 高橋 幸弘 印

出席理事 田近 英一 印

出席理事	サイモン・ウォリス	印
出席理事	小口 千明	印
出席理事	河宮 未知生	印
出席理事	堀 利栄	印
出席理事	阿部 なつ江	印
出席理事	大谷 栄治	印
出席理事	川幡 穂高	印
出席理事	倉本 圭	印
出席理事	成瀬 元	印
出席理事	西 弘嗣	印
出席理事	長谷川 直子	印
出席理事	日比谷 紀之	印
出席理事	福山 繭子	印
出席理事	村山 泰啓	印
出席理事	和田 浩二	印
出席監事	鈴木 善和	印
出席監事	松本 淳	印